



4/10

田原本町長永年勤続表彰 永年勤続の功績を称えて

田原本町消防団員として20年にわたり勤続された竹川健二さんが、その功績を称えられ、高江町長より表彰状と記念品が授与されました。

高江町長からは、その功労を称えるとともに、他の模範となる存在として感謝の言葉が贈られました。



4/9

防災協定の説明会開催 災害復旧へ連携強化

町と防災協定を締結している「いえいろは(株)」が、県内の建設関係事業者向け説明会を開催し、30社を超える事業者が参加しました。大規模災害時に、町の要請に基づき全国の専門業者を迅速に派遣し、家屋の復旧支援と町民生活の早期再建を目指すという主旨の説明などがありました。



4/11

田原本町の未来を「自分ごと」として考える！ 「住民協議会」閉幕

第5次総合計画に向けた約半年間の議論 6月に成果をご報告

令和9年度から始まる「第5次田原本町総合計画」の策定に向け、昨年から開催してきた「住民協議会」が、4月11日に全4回の日程を終えました。無作為抽出によって選ばれた13歳から80歳代までの約50人が参加し、半年間にわたって町の未来について真剣に話し合いました。

最初は戸惑っていた参加者の皆さんも、世代や立場を超えた対話を重ねる中で意識が大きく変化しました。町の課題に対して「誰かが解決するのを待つ」のではなく「自分たちが主体となって向き合う」という前向きな姿勢へと変わり「田原本

をより良くしたい」という参加者全員の強い想いが一つになっていきました。

全4回の議論を通じ、皆さんの田原本への切なる願いが込められた「提案書」が無事完成しました。この協議会の成果である提案書は、6月22日に開催する「手交式」にて町へ手渡されます。

6月1日から「第5次田原本町総合計画」の「基本構想(案)」について、皆さんからのご意見を募集します。より良いまちづくりのため、ぜひ皆さんの声をお聞かせください。(本紙14ページ)

町長 メッセージ

Vol.25



町長活動記録

水害をはじめ災害への備えも「自分ごと」として

水害への対策として、本町においては貯留施設の整備など各種の取り組みを推進しております（本紙2ページからの特集参照）。昨年度は新たに簡易型水位計を20基設置し、誰もがインターネットで浸水状況を確認できる体制を構築しました。本年度は、新たに阪手地区における貯留施設が完成し、また、田んぼダムを推進すべく候補地の検討を進めております。加えて、住宅防火対策支援事業（感震ブレーカー等購入補助）を新たにスタートするなど、今ある日常をお守りするため力を尽くします。皆さんにおかれましても、備蓄品の準備やマイタイムラインの作成、自主防災組織における訓練など、普段の備えをよろしくお願いいたします。昨年度からスタートした届出避難所制度も現在11自治会（5月18日時点）に活用いただいておりますが、一方、皆さんとの意見交換の場では、ハード整備のみならず、災害対応に係る人材育成も進めるべきとの御指摘も数多くいただきました。これを受け、本年は、内

閣府が全国15ヵ所で開催するモデル事業「避難生活支援リーダー/サポーター研修」を本町で実施いただけるよう調整を進めました（奈良県内初実施）。後日詳細をお知らせしますので、多くの皆さんの参加をよろしくお願いいたします。地域のことを「自分ごと」として考えていただける方の存在こそが地域の力です。

行政としての説明責任

様々な場面で申し上げておりますが、行政における全ての責任は申し上げるまでもなく私にあり、就任前の意思決定であっても、風が吹いても雨が降ってもそれらについて説明をし尽くす覚悟をもって事に臨んでおります。しかしながら、昨今の懸念として、故意に情報を切り取り、住民の皆さんに不要な分断を生んでいる状況が認められます。

町としては、改めて正確な説明を一層心がけてまいりたいと考えております。住民の皆さんにおかれましては、この現実を御理解いただき、町議会議員が配布する活動報告を含め、情報の取捨選択に努めていただくようよろしくお願いいたします。

これってどうなの？ 役場が答えます！

Q

予算を編成するに当たって、基金（貯金）を取り崩しているの？ 借金は増えているの？

今年度は、10年ぶりに予算を組む段階から、經常的な収入不足を補うための貯金を取り崩さない予算をつくることができました。一部貯金を使っていますが、これは学校と給食センターという併せて100億円規模の事業を行うため、あらかじめ貯めてきた準備金です。建設から約60年が経過し老朽化した学校を、3校統合して新しく建て替えるという一大プロジェクトに着手するため、今後、借金の総額は増えます。しかしこれは、家計に例えるなら「住宅ローンを組んでマイホームを建てる」と同じで、子どもたちの未来に向けた必要な投資です。

もちろん、やみくもに借りるわけではありません。将来の返済額の一部を国が負担してくれる有利な借金を最大限に活用し、将来の負担を抑えています。財政の健康状態を示す指標もすべて改善し、ここ10年で最大の黒字を確保するなど、町の財政は着実に健全化しています。

A

Q

保育所関係費用が大幅に増えている一方、農業関係費用（農業基盤整備工事費）が大幅に減っているなど、バランスは保たれているの？

保育関係の経費は、共働きなどのニーズに対応するために増加しています。直近7年間では6施設を整備し、217人分の保育枠の確保につながりました。その一方で、すべての事業で聖域なき行財政改革を進めています。令和7年度で約21億円、8年度で約9億円の財政効果を見込む見直しを行いました。

なお、農業関係経費（農業基盤整備工事費）は、当初予算だけで見れば減額していますが、これは国の有利な補助を獲得するため、前年度に前倒しで予算化し今年度に繰り越しているためです。実際の事業規模は前年度と同程度を維持しています。

皆さんの日常をお守りするため、見直すべきは見直し、必要な部分には積極的に投資することで、全体のバランスを保ちながらニーズに対応してまいります。

A